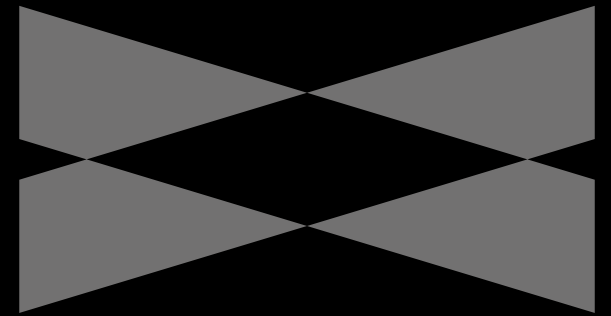




NOBODY KNOWS



NOBODY KNOWS

そこでしか出会えない、
まだ誰も知らない日本がある。

その暮らしに触れると、見えてくることがある。
その歴史や人のつながりを知ると、わかることがある。
その場所でしか、感じられないことがある。

NOBODY KNOWS.
それは、日本遺産を舞台にした伝統芸能プロジェクト。

文化や芸術を「根づく」と表現するこの国だから
それぞれの地域で受け継がれてきた芸能を
切り花のように鑑賞するのではなく
その根を張っている場所で、観てほしい。

地元に伝わってきた芸能と
音楽や舞踊などプロの芸能を交差させることで
ライブを、楽しさと発見に満ちたものに。
さらには、地域の人に出会い
歴史や風土、暮らしや技に触れる体験も。

どんなものにもアクセスできるこの時代に
そこでしか、出会うことができないものがある。
さあ、誰も知らない、日本を見つけにいこう。

2019年9月23日(月・祝) 高山公演

岐阜県高山市：日下部民藝館



岐阜県高山市。深い深い山あいの町。

ここには、木を生かし、木と共に生きる卓越した技が、
飛鳥の時代より連綿と受け継がれている。

「飛騨匠」と呼ばれたその技が、1300年を経て今も、町並みや工芸、
祭りの中に息づいている奇跡。

技が生きているということは、技を生み出す「心」が生きているということ。

高山を訪れるなら、ガイドブックに載っている町並みを散歩するだけでもったいない。

華麗な高山祭に酔いしれるだけでもったいない。

人に出会い、技に触れ、心を感じる。

まだ誰も知らない高山が、そこにある。





町を歩くと、すぐに気づく。至るところに存在感を放つ「木」。

整然と、静かに、実直に。これが高山の美意識だろうか。





巨大な梁に圧倒される日下部家住宅。

今夜はここで、トークに芸能、伝統の技に触れるライブ。

高山の旦那衆は、築き上げた財を、
建築・工芸・祭りなどに惜しみなくつぎ込んだという。

だからこそ、匠の技が生き続けてきた。





ユネスコの無形文化遺産にも登録されている高山祭。
その巡幸の先陣を切る獅子舞の頭にも匠の技が光る。
大太鼓を打ち鳴らし、ちびっこから若手が、獅子に命を吹き込む。



高山祭は、江戸時代に旦那衆が京や江戸から持ち帰った芸能の影響も濃い。
ライブの中では、江戸時代に花開いた歌舞伎の踊りと音楽も。
若手のプロ実演家による本格的で熱いパフォーマンスは、圧巻。





プロと一緒に練習をし、その技に刺激を受けた子供たち。祭囃子への想いをつなぐ、特別な時間。





ライブの後は、お客さんも出演者も地元民も集まって、地酒を手におしゃべり。
高山料理が並べられたのは、これも匠の「飛騨春慶」のお盆。
旅先では、やっぱり人に出会うのが楽しい。
祭囃子がこだまする、忘れられない夜が更けていく。

歴史と文化だけでなく、高山の奥には大自然が広がっている。
翌日、バスに揺られて45分で中部山岳国立公園へ。
山岳ガイドと製材屋の若旦那による、他にはないガイドトレッキング。
雄大な自然の中で、飛騨匠の源を感じる。





その土地に根づく 文化と芸能に触れる旅

いま、遠方で開催されるコンサートにあわせて、観光も楽しむライブ・ツーリズムに注目が集まっています。NOBODY KNOWS プロジェクトでは、新たな展開として「伝統ライブ・ツーリズム」を提案しています。日本各地で認定されている日本遺産の伝統建築や史跡、自然などをフィールドに、その土地でしか感じるここのできない伝統芸能ライブを楽しむ。あわせて、伝統を伝える人に出会い、その土地に息づく歴史、文化、こころに触れられるプログラムも用意。体験できるのは、「生きている伝統」に出会う旅です。

時代を超えて大切にされてきた「無形の文化」

このプロジェクトが伝えたいのは、歴史、技、暮らし、祭り、祈り、食、芸能など「形のないもの」です。日本遺産のストーリー自体も形がありません。人から人へ伝えていかなければ失われてしまう「無形の文化」を中心とした、新しい旅の形です。

人から人へ、「ライブ」で伝える

無形の文化は、人から人へ伝えるからこそ面白い。だから、展示物や解説文やVRだけではなく、人から人へ「ライブ」で伝え、伝統や文化の生き生きとした表情に触れてもらうことを大切にします。公演、ツアー、ワークショップ、交流会などを通して、プロや地元の芸能者、ガイド、職人、神主、地域の人々や子どもたちと出会い、学び、共に楽しむ体験です。

旅の出会いが、伝統文化の「応援」につながる

無形の文化は、地域らしさ、日本らしさの「根っこ」とも言えます。それは、私たちが立ち返るよりどころかもしれません。でも「形」が無いため、受け継ごうという人がいなくなれば、途絶えてしまいます。人から人へ「ライブ」で伝えて、訪れた人たちの素直な驚きや感動を肌で感じるのが、文化の継承者をどれだけ力づけるか。旅人たちがライブを楽しむことが、次の世代の意欲や誇りを育むきっかけになる。文化が豊かに根づく土壌づくりにつながります。

岐阜県高山市

日下部民藝館
2019年9月23日(月・祝) NOBODY KNOWS 公演
9月24日(火) 中部山岳国立公園日本遺産ガイドツアー

雄大な自然と飛騨匠の技、
山あいの町に響くやわらかな祭囃子。



【成果の特徴】
観光コンテンツ造成と高山祭に向けた次世代育成の複合企画。
初めて日本遺産と国立公園ツアーのタイアップを創出。

【声】
・自分の住んでいる地域の文化にふれられてとても感激(観客)
・(プロの篠笛を聞いて)すごい! 初めてミステルを聞いたような衝撃!! (祭囃子出演者)
・事前練習でのプロの演奏家の演奏が素晴らしく、子どもたちも一緒に練習することで感化された(自治体担当者)
・大都市でなく、豊かな自然を楽しむ旅がしくて高山に来た。前夜は日本の伝統芸能や郷土料理を味わい、自然景観を楽しむトレッキングまでできて、とても満足!(ツアー参加外国人)

【ねらい】
・高山祭の芸能の価値をより高め、次世代を育成
・文化財の魅力を引き出す演出
・地域の文化的背景の理解促進、アイデンティティ醸成
・ナイトタイムの観光コンテンツの試行実施
・日本遺産をテーマにしたガイドの機会を提供(日・英)
・質の高い伝統芸能公演の鑑賞機会を創出

富山県南砺市

井波別院瑞泉寺
2019年10月6日(日) NOBODY KNOWS 公演／いなみ灯りアート

圧倒的な存在感に浸る。
一心に彫る、造る、踊る土地。



【成果の特徴】
既存の地域イベントとタイアップし、
日本遺産の視点で地域芸能が一堂に会する貴重な機会を創出。

【声】
・近くにいながなかなか聴けないでいたのを、この別院で一度に観れてとてもよかった(観客)
・若い方に引き継がれて、これからも増々頑張って下さい(観客)
・多くの方が守り受け継いできた井波別院瑞泉寺や、南砺に古くから伝わる伝統芸能の数々が、新たな可能性を見いだせた(観光協会担当者)
・富山三大民謡が集う機会はなかなかなく、今後の展開を期待(観光事業者)

【ねらい】
・既存の地域イベントとの連携による相乗効果
・地域芸能の価値の再発見
・伝統芸能の次世代を育成
・文化財の魅力を引き出す演出
・様々な団体との新たな連携
・質の高い伝統芸能公演の鑑賞機会を創出

岡山県倉敷市

箭田大塚古墳

2019年10月13日(日) NOBODY KNOWS公演／まび竹林音楽祭

自然と音楽と歴史に溶ける。
光に包まれる竹林と古墳。



【成果の特徴】

地域の若手が中心となって災害復興支援として企画。
既存の地域イベントと連携し、文化財の新しい空間演出を提案。

【声】

- ・ 雅楽とピアノのコラボ、この場にぴったり(観客)
- ・ とても良かったです。感動しました!来年もまた来たいです(観客)
- ・ 復興に向けて頑張っている「まちの姿」を町外からの大勢の来場者に見ていただくことができ、被災地真備町にとって、とても有益でした。(地元青年会議所担当者)
- ・ 照明の演出がとても幻想的で素晴らしく、こうした手法を別な機会にも活用したいと思った(自治体担当者)

【ねらい】

- ・ 災害復興支援
- ・ 地域の若手人材との連携による地域活性
- ・ 文化財の魅力を引き出す演出
- ・ 様々な団体との新たな連携
- ・ 質の高い伝統芸能公演の鑑賞機会を創出

神奈川県伊勢原市

大山阿夫利神社、東学坊

2019年10月26日(土) NOBODY KNOWS公演

力強く祈り、軽やかに遊ぶ。
江戸っ子に学ぶ、あこがれの旅文化。



【成果の特徴】

神社・企業・芸術団体の新たな連携。日本遺産を体現する
参拝と精進落とライブが一体となったツアーを試行実施。

【声】

- ・ イヤホンでの案内、その所々のプロの案内や説明が良かった。これまで何度か来ていますが、大山を見直しました(観客)
- ・ 雰囲気や実演、とくに神社での正式参拝の体験がとてもよかった(観客・外国人)
- ・ 日本人との合同ツアーだったので、食事や参拝を現地の人と一緒に楽しむことができとてもよかった(観客・外国人)
- ・ 子供達は最初は今までと違う形式に恥ずかしがっていましたが、懸命に稽古してくれました。地域のこれからの担う世代に対しても自信と活力を得るよい機会になりました(神社担当者)

【ねらい】

- ・ 神社・企業・芸術団体による連携
- ・ 日本遺産をテーマにした外国人対象のツアー開発
- ・ 伝統芸能の次世代を育成
- ・ 文化財の魅力を引き出す演出
- ・ 日本遺産をテーマにしたガイドの機会を提供(日・英)



山形県鶴岡市

出羽三山神社
2019年11月2日(土) NOBODY KNOWS 公演 + バスツアー

自然・祈り・芸術に包まれる
感性をひらく新しい体験型ライブ

【成果の特徴】
出羽三山の修験道と能楽をクロスさせ、
新しい視点で日本文化のエッセンスを体感するプログラムを開発。

- 【声】
- ・本物の能に感動しました。涙が出るほど日本の良さを体験させて頂きました。(観客)
 - ・歴史的な場所で文化的なイベントがあって、とてもクリエイティブなツアープランでした。(観客・外国人)
 - ・拝殿が幻想的空間に演出されて驚いた。出羽の信仰文化を新しい切り口や演出で紹介するアイデアに発見が多くあった。(神社担当者)
 - ・出羽三山神社の本殿に満ちみちた荘厳な空気。都会に生活する私達が忘れがちな、自然のめぐみへの感謝や心身を整え暮らしていくことの大切さ等、単なる芸術鑑賞の域を越えた気付きを与えてくれた 貴重な催しであった。(出演者)

- 【ねらい】
- ・新たな切り口による地域文化の価値の再認識
 - ・文化財の魅力を引き出す演出
 - ・様々な団体との新たな連携
 - ・ナイトタイムの観光コンテンツの試行実施
 - ・新たな観光コンテンツやツアーを創出
 - ・日本遺産をテーマにしたガイドの機会を提供(日・英)
 - ・質の高い伝統芸能公演の鑑賞機会を創出



大分県豊後高田市

天念寺
2019年11月30日(土) NOBODY KNOWS 公演 + バスツアー

幸せの火の粉を浴びる
鬼と生きる奇跡の半島「くにさき」

【成果の特徴】
周年行事の火祭りを特別再現。後継者不足に課題を持つ保存会と連携し、
地域資源の新たな活用と祝福の機会を創出。

- 【声】
- ・プロの実演と、地域の様子がマッチしてすばらしかった!!(観客)
 - ・あたたかい地域のおもてなしが素晴らしかった。(観客)
 - ・日本人として大事にするべき文化を再確認し、この文化に誇りをもつことができた。(観客)
 - ・人生にまたとない驚くべき体験。一生忘れない。(観客・外国人)
 - ・大松明をこんな風に見せるのは考えなかったなあ。かっこええなあ!(伝統行事保存会の方)
 - ・公演を見て、改めて、六郷満山文化の素晴らしさと、そこに住んでいる人々の営みと繋がりを
見ることができ、深く感動。(自治体担当者)

- 【ねらい】
- ・地域の文化的背景の理解促進、アイデンティティ醸成
 - ・伝統行事の次世代育成
 - ・文化財の魅力を引き出す演出
 - ・様々な団体との新たな連携
 - ・新たな観光コンテンツやツアーを創出
 - ・日本遺産をテーマにしたガイドの機会を提供(日・英)
 - ・質の高い伝統芸能公演の鑑賞機会を創出



実施体制 NOBODY KNOWSの開催を通して、各地でたくさんの方々との連携が実現し、新しいチャレンジやノウハウの共有、そして何より、共に伝統文化を寿ぐ機会になりました。

日本博 日本遺産を活かした伝統芸能ライブ「NOBODY KNOWS」プロジェクト

主催：文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会
協力：一般社団法人長唄協会、公益社団法人日本舞踊協会、公益社団法人能楽協会、公益社団法人落語芸術協会
後援：環境省、地域創生インバウンド協議会

企画・制作：公益社団法人日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕
制作協力：奥村優子 (koen 企画)
演出・構成・台本：村野玲子 (NICK-PRODUCE)、佐藤慎哉 (アナログスイッチ)
舞台監督：山添寿人 (関西舞台株式会社)、岡田直哉 (株式会社岡田舞台)
照明：松本永 (eimatsumotoCo.Ltd.)
音響：橋本喜代志、斎藤アキヒ (株式会社エス・シー・アライアンス)
音響アドバイザー：松本哲志 (公益社団法人日本舞台音響家協会)
音響機材提供：株式会社アートウィズ
写真・映像：株式会社プロジェクト・カンパニー& augment5 Inc
フォトグラファー：(P2～P15, P18) 消忠之 (消忠之写真事務所)、(P16, P17, P20～P23, P25) 工藤裕之 (株式会社 PHOTO MIO JAPAN)、(P24) 酒井大 (ヒロスイ写真館)
アートディレクション：庭野広祐 (株式会社新村デザイン事務所)
コピーライティング：仁藤安久 (株式会社 Que)
Web 制作：augment5 Inc、株式会社テオ

出演者 (プロ実演)
雅楽：中村香奈子、中村華子、中村仁美
ギター：定塚洋平
三味線：杵屋勝司郎、杵屋五三吉雄、杵屋裕太郎、稀音家六四郎、東音南谷舞
太神楽：鏡味 味千代、丸一小助・小時
津軽三味線：吉田健一 (吉田兄弟)
日本舞踊：花柳源九郎
能楽：井上貴寛、姥浦理紗、岡本はる奈、杉山俊広、佃良勝、野村万禄、藤田朝太郎、政木哲司、村瀬慧、山井綱雄、山中一馬、吉住講
ピアノ：木原健太郎
邦楽囃子：堅田新十郎、澁川武史、住田福十郎、福原百貴、藤田和也、望月左太助、望月大貴、望月晴美、望月秀幸

高山公演
共催：高山市、公益財団法人日下部民芸館
協力：一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会、飛騨高山旅館ホテル協同組合
制作協力：飛騨高山ジャズフェスティバル実行委員会
トーク：日下部勝、牛丸岳彦、元本木山
出演：櫻山八幡宮獅子連中、八幡鳳凰台組、久田上総 (ギター)、森誠 (ジャンベ)
ガイド：五色ヶ原の森案内センター、中畑太吾 (丸弘木材合資会社)
通訳：石原尚

南砺公演／いなみ灯りアート
共同主催：灯りアート実行委員会、三六八通り振興会
共催：クラブツーリズム株式会社
協力：井波日本遺産推進協議会、一般社団法人南砺市観光協会
トーク：藤井圭一、常本哲生、三谷直樹、前川大地
出演：井波木遣りの会、越中五箇山筑子唄保存会、越中五箇山麦屋節保存会、城端庵唄保存会、越中八尾おわら保存会福島支部
進行：高木奈々
照明：松田稔 (有限会社松田電機店)
音響：辻村直純 (株式会社 MIX BOX)

倉敷公演／まび竹林音楽祭
共同主催：竹林音楽祭実行委員会
共催：倉敷市、倉敷市日本遺産推進協議会
協力：岡山県立大学デザイン学部 三原鉄平ゼミ
協賛：岡山県内企業 50 社
トーク：藤原憲芳
出演：吉備真備太鼓、倉敷天領太鼓
進行：ハタナカヨースケ
舞台監督：中田英明 (株式会社ステージ岡山)
照明：朝原優希 (株式会社ステージ岡山)
音響：家野裕子 (株式会社プロサウンド)
空間演出：高橋匡太 (光のアーティスト)

伊勢原公演
共催：大山阿夫利神社
協力：伊勢原市観光協会
後援：伊勢原市
旅行企画・実施：小田急電鉄株式会社、株式会社小田急トラベル
トーク：目黒久仁彦
出演：大山阿夫利神社の倭舞 (大山小学校児童)
舞台監督：中村真 (有限会社バル音楽産業)
照明：武弘晃 (株式会社オフィスベース)
ガイド：志村功 (伊勢原市観光協会)
通訳：神奈川 SGG クラブ

鶴岡公演
共催：出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会、鶴岡市、鶴岡市教育委員会
トーク・ワークショップ：吉住登志喜、中野雄一朗、長谷川智光
進行：山崎典子
舞台監督：上野雅郷 (株式会社ステージアンサンブル東北)
照明：海谷栄伸 (株式会社ステージアンサンブル東北)
音響：永瀬博一 (サウンドプラス)
ガイド：羽黒町観光協会 いでは観光ガイドの会
通訳：鈴木卓

豊後高田公演
共催：豊後高田市
協力：長岩屋修正鬼会保存会
トーク：段上達雄
出演：長岩屋修正鬼会保存会
進行：齊藤美絵
舞台監督：横山和美 (株式会社福岡市民ホールサービス)
照明：栗戸友起 (有限会社ガレージワン)
音響：塩谷稔 (株式会社スタッフ)
ガイド：後藤裕之
通訳：佐藤都茂子



<https://nobodyknows.tours>

2019年度 事業実績

場所	岐阜県高山市	富山県南砺市	岡山県倉敷市	神奈川県伊勢原市	山形県鶴岡市	大分県豊後高田市
日本遺産ストーリー	飛騨匠の技・こころ 一木とともに、今に引き継ぐ 1300年ー	宮大工の鑿一丁から生まれた 木彫刻美術館・井波	「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま ～古代吉備の遺産が誘う 鬼退治の物語～	江戸庶民の信仰と行楽の地 ～巨大な木太刀を担いで 「大山詣り」～	自然と信仰が息づく 『生まれかわりの旅』 ～樹齢300年を超える杉並木に つつまれた2,446段の石段から 始まる出羽三山～	鬼が仏になった里『くにさき』
会場	日下部民藝館 (国重文)	井波別院瑞泉寺	箭田大塚古墳 (国史跡)	大山阿夫利神社下社、東学坊	出羽三山神社 三神合祭殿 (国重文)	天念寺 (国名勝)
トーク	日下部家 13代目当主 高山市文化財課 木彫刻家	井波日本遺産推進協議会 井波別院輪番 彫刻師	倉敷市教育委員会 文化財保護課学芸員	大山阿夫利神社権禰宜 伊勢原市観光協会 江戸っ子旅人 (俳優)	出羽三山神社禰宜 山伏 能楽師	別府大学教授 (日本民俗学)
地域芸能	祭囃子 獅子舞	井波木遣り踊り、こきりこ 麦屋節、城端庵唄、越中おわら	和太鼓	神楽舞 (倭舞)	ー	修正鬼会
プロ実演	日本舞踊 長唄	日本舞踊 長唄	雅楽+ジャズピアノ 津軽三味線	太神楽 日本舞踊・三味線	篠笛+ギター 能楽	邦楽 (笛、太鼓、三味線) 狂言
日時	2019年9月23日 (月・祝) 18:30 ～ 19:45	2019年10月6日 (日) ① 17:00 ～ 18:30 ② 19:00 ～ 20:30	2019年10月13日 (日) 17:00 ～ 19:10	2019年10月26日 (土) ① 8:45 ～ 14:50 ② 11:15 ～ 17:35	2019年11月2日 (土) 16:30 ～ 18:30	2019年11月30日 (土) 17:30 ～ 19:45
参加者数 (定員)	約 120 人 (定員 100)	①約 260 人 (定員 200) ②約 240 人 (定員 200)	約 400 人 (定員 400)	①約 17 人 (定員 40) ②約 27 人 (定員 40)	約 70 人 (定員 60)	約 140 人 (定員 100)
関係者数	約 100 人	約 110 人	約 120 人	約 35 人	約 55 人	約 75 人
関連企画／ツアー	・ 子供向け祭囃子ワークショップ (8/21) ・ 中部山岳国立公園×日本遺産 ツアーの試行実施 (9/24) ・ 交流会	・ いなみ灯りアート共同開催 ・ クラブツーリズム ツアー ・ 庄川遊覧船・木彫刻ワーク ショップツアーの試行実施	・ まび竹林音楽祭との共同開催 ・ 倉敷観光コンベンションビュー ローツアー	・ 小田急電鉄・小田急トラベル と連携し、外国人対応ツアー の試行的造成	・ 「生まれ変わりの旅」を五感で 味わう、特別体験型ライブツ アーの試行実施	・ ライブにあわせて、紅葉の国東 をめぐる NOBODY KNOWS 特別バスツアーの試行実施 ・ 交流会
資源活用	工芸・自然・食・地域芸能・ 伝統建築・祭り	工芸・自然・地域芸能・ 伝統建築・祭り	《災害復興》 史跡・自然・食・地域芸能・ 現代美術	自然・食・信仰祭礼・ 地域芸能・伝統建築	自然・食・信仰祭礼・伝統建築	自然・食・信仰祭礼・伝統建築

